

令和8年度に実施予定の**主な事業**をご紹介します

<p>移住・定住支援の充実 移住・定住促進事業 出会いサポート・新婚世帯応援事業</p> <p>定住補助金や移住支援金、出会いサポートや新婚世帯応援など、幅広い世代に向けた移住・定住支援を実施します。</p>	<p>子育て世帯の負担を軽減 小学校給食無償化事業</p> <p>小学校の給食を無償化し、子育て世帯の経済的負担軽減を図ります。</p>	<p>町制施行100周年に向けたPR 町制施行100周年記念事業</p> <p>令和10年1月1日の町制施行100年に向けて、ロゴマークを決定し、様々な周知事業に取り組みます。</p>
<p>町民の声に応えるDX デジタル推進事業</p> <p>スマートフォン等を利用した「電子申請」の更なる充実や、窓口で申請書の作成をサポートする「書かない窓口」の推進など、デジタルとアナログの融合を図ります。</p>	<p>新たな都市づくり 都市計画マスタープラン 立地適正化計画策定</p> <p>今後の都市づくりの方針となる都市計画マスタープラン見直しと持続可能な都市構造を目指す立地適正化計画の策定を行います。</p>	<p>災害時の指針更新 地域防災計画改定</p> <p>町民の生命・身体・財産を守るため、災害時の対応方針を定め、自助・共助・公助による災害に強いまちづくりを目指した地域防災計画の改定を行います。</p>
<p>幼児教育・保育環境の整備 幼保再編の検討と調整</p> <p>各幼稚園と高城保育所の再編の早期実現に向けて、適地選定等の検討に取り組みます。</p>	<p>誰もが健康でいられるまちづくり 母子保健事業 予防接種事業</p> <p>母子健康手帳アプリ導入や各種ワクチン接種の充実により、妊娠期から高齢者までの皆様が健康で過ごせるまちづくりを目指します。</p>	<p>施設環境の改善 松島運動公園トイレ改修事業</p> <p>運動公園内のトイレを洋式化し、利用者が快適に利用できるように施設環境の改善を進めます。</p>

※施政方針の全文については、町ホームページをご覧ください。

誰にでもやさしく、活力あふれる“ほっと”松島

施政方針

※3月3日表明

令和8年第1回松島町議会定例会において、令和8年度予算案及び諸議案を御提案申し上げ、御審議をいただくに当たり、町政運営に臨む所信の一端と基本的な考え方を御説明申し上げ、議員及び町民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

まずはじめに、令和7年を振り返りますと、様々な災害が多かった年であったと感じております。2月に発生した大船渡市林野火災をはじめ、12月には青森県東方沖地震、更には獣害もあり、昨年末の「今年の漢字」が「熊」になるなど、例年になくクマによる人身被害が東北地方で数多く発生しました。クマによる人身被害につきましても、本町は幸いにもありませんでしたが、目撃情報等は多数寄せられており、今後もクマ対策を継続していく必要があると考えております。

さて、国政に目を向けてみますと、昨年10月に高市氏が第104代内閣総理大臣に就任し、1885年の制度創設以来、日本で初めての女性首相が誕生いたしました。先月実施されました衆議院議員総選挙においても、高市内閣が掲げる「日本列島を、強く豊かに。」が支持された形となっております。本町におきましても、高市内閣が「足元の物価高への対応」として昨年末に実施しました重点支援地方交付金を活用し、様々な支援を町民の皆様へい

早く届けるべく、引き続き、各事業に取り組んでまいります。

また、昨年7月には初原地区において「松島イノベーションズ」の起工式が執り行われ、工業団地の整備が大きく進展いたしました。引き続き、松島町初原土地区画整理組合と連携しながら、企業誘致を着実に進め、雇用創出と移住定住の促進を図ってまいりますとともに、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

観光面においては、松島町の観光客数が震災前の水準に戻りつつある中で、本年1月13日より宿泊税が導入され、東北地方を牽引する国際観光都市松島として、今後の観光振興に寄与されるものと期待しているところであります。令和8年度は宮城県や地元企業と連携しながら、滞在型観光を目指し、様々な課題に取り組んでまいります。

令和8年度は、本議会に議案とさせていただきます。今後10年間の町の将来像やまちづくりの方向性を示した新たな長期総合計画がスタートする年であり、

当計画では「誰にでもやさしく、活力あふれる“ほっと”松島」を将来像として掲げ、「松島の基盤をつくる」、「松島の人と自然を守る」、「松島の人人々を育む」、「松島の活力を生み出す」、「島のまちづくりの仕組みをつくる」の6つの基本目標を相互に連携させ、各

分野における課題の解決を図り、目標とする将来像の実現を目指してまいります。

また、令和8年度は、町制施行100周年に向けた大切な一歩を踏み出す年でもあります。最初の一步として、町制施行100周年のロゴマークを決め、それを活用しながら、様々な周知事業に取り組み、令和10年1月1日の町制施行100年に向けて、町内外に広くPRしてまいります。

一方で、令和8年度の本町の財政見通しは、所得税の基礎控除の見直しや設備投資の縮小による地方税の減収が影響し、主要一般財源はわずかに下降する見通しであり、長期化する物価高の対応等で、歳出増の伸びが歳入見込みを上回る状況が継続することも懸念されております。

加えて、人口動態に伴う地域運営の持続性や激甚化・頻発化する自然災害への対応も想定されるため、財政基盤の持続性と安定性の確保に向けた収支改善に取り組み、財源不足の縮減を図ることが不可欠であります。

このような状況の下、令和8年度予算案における一般会計の予算規模は、前年度と比較して、0.1%の増で編成しております。

- なお、特別会計予算につきましては
1. 4%の増となり、公営企業会計予算につきましては、水道事業会計では
 5. 8%の増、下水道事業会計では
 4. 3%の減で編成しております。

まちづくりの道しるべとなる
「松島町長期総合計画(2026-2035)」
 ができあがりしました

松島町では、令和8年度から令和17年度までの10年間を計画期間とした「松島町長期総合計画(2026-2035)」を策定しました。

長期総合計画は、行政運営を行う上で、共通の目標や長期的な視点に立つて目指すべき方向性を定め、その実現に向けた具体的な施策を示す、行政運営の基盤となる計画です。

町民アンケートやパブリックコメントで町民の皆さんから多くの意見やアイデアをいただき、各地区や関係団体の代表者の方で構成された松島町まちづくり検討委員会でも何度も検討を重ね、読みやすく手に取りやすい計画書としました。

将来像である「誰にでもやさしく、活力あふれる“ほっと”松島」の実現に向け、町民協働によるまちづくりを進めていきます。

長期総合計画の内容は、今後の広報でお知らせしていきます。



※松島町長期総合計画(2026-2035)については、町ホームページをご覧ください。

令和8年度予算案は、新たな長期総合計画の初年度として、重点施策への集中的な投資と持続可能な財政運営のバランスを図りながら編成しております。

今後も地方自治体は厳しい財政状況の中で行政運営を行うこととなりますが、行政だけでは成し遂げることができない、多くの課題があります。これらを解決するためには、議会等の御協力が不可欠であり、また、同じ松島に生きるものとして共に目指すべき未来の松島に向かって進むことが重要であります。

引き続き、松島をより良い方向へ動かすため各施策に取り組んでまいりますので、議員及び町民の皆様の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



松島町長 櫻井 公一